



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 ニフコ

上場取引所 東

コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴尾 雅春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 矢内 俊樹 TEL 03-5476-4853

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	87,977	21.1	10,146	28.0	13,408	19.3	9,728	21.1
2023年3月期第1四半期	72,648	3.2	7,928	△10.9	11,243	18.9	8,035	31.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 11,240百万円 (△25.3%) 2023年3月期第1四半期 15,039百万円 (27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	97.50	-
2023年3月期第1四半期	80.22	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	355,472	233,215	64.8	2,311.19
2023年3月期	359,150	226,127	62.2	2,237.06

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 230,512百万円 2023年3月期 223,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	31.00	-	33.00	64.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	32.00	-	32.00	64.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	343,000	6.6	38,000	10.3	38,300	1.1	23,500	11.0	235.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー 、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	107,508,954株	2023年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,771,222株	2023年3月期	7,577,913株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	99,780,742株	2023年3月期1Q	100,171,484株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業では、資源価格の下落を受け素材業種が持ち直したことに加え、部材不足の緩和により自動車業種の景況感が改善いたしました。また非製造業では、宿泊・飲食サービスなどを中心に消費関連業種の景況感が改善いたしました。海外に目を転じますと、中国では、ゼロコロナ政策の解除を機に、コロナ禍で積み上がった貯蓄を支えに、個人消費が増勢するなど、景気回復はサービス消費がけん引しております。一方、世界的な巣ごもり需要の終息や、欧米景気の減速に伴い、輸出の低迷が続いており、中国での国内生産が伸び悩み、景気を下押ししております。欧州経済については、製造業が新規受注の減少により景況感が低下したものの、旅行関連業種などのサービス業の景況感が大きく改善し、景気をけん引しております。米国経済においては、製造業では、巣ごもり消費の一巡や金融引き締めなどを受けた財需要の減速を反映し、新規受注が減少したことを受け、生産活動は低迷しております。一方、非製造業では、飲食・宿泊などのサービス業が底堅く推移しております。このように世界経済は、コロナ後のリバウンド需要により、サービス業の景況感は改善しつつあります。一方、製造業は、主に半導体の供給制約の解消で輸送機械関連の生産が増加したものの、コロナ禍の巣ごもり需要が収束し、景況感が停滞しており、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、当第1四半期連結累計期間において、対前年同期比で、生産台数、販売台数ともに大きく上回った状況となりました。海外におきましては、当第1四半期連結累計期間の対前年同期比で、中国市場は、生産台数、販売台数ともに下回ったものの、米国市場、欧州市場、韓国市場及びインド市場では、生産台数、販売台数ともに上回った状況となりました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比21.1%増の879億7千7百万円となりました。

利益面では、原材料価格や電気代の高騰などを受けたものの、減価償却費や人件費などの固定費の増加を抑えたことにより、営業利益は前年同期比28.0%増の101億4千6百万円となりました。経常利益は円安が進み為替差益が発生したことにより、前年同期比19.3%増の134億8百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比21.1%増の97億2千8百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車の生産活動が持ち直したことなどを受け、売上高は増収となりました。海外におきましても、米国、欧州及び韓国などにおいて自動車の生産活動が持ち直したことや、為替が円安に向かったことなどを受け増収となり、全体としては増収となりました。利益面においては、原材料価格や電気代の高騰などを受けたものの、減価償却費や人件費などの固定費の増加を抑えたことにより、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比22.4%増の798億2千6百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比28.3%増の100億9千2百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては販売店向けに加えてホテル向けが大きく伸びて、増収増益となりました。一方、海外においてはシンガポール・香港にてホテル及び小売向けが好調であったものの、中国本土ではコロナによる配送停止などの影響により主要都市での売上が伸び悩み、海外全体としては、増収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比10.0%増の81億5千万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比5.3%増の13億7千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億7千8百万円減少して、3,554億7千2百万円となりました。主な減少要因としては、売掛金が34億9千8百万円増加したものの、商品及び製品が17億5千7百万円、有形固定資産が7億9千万円それぞれ減少しております。また、現金及び預金が45億8千2百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ107億6千6百万円減少して、1,222億5千6百万円となりました。減少要因としては、1年内返済予定の長期借入金が100億7千5百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ70億8千8百万円増加して、2,332億1千5百万円となりました。主として利益剰余金が64億1千5百万円増加したこと、及び円安により為替換算調整勘定が9億4千8百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

1. 業績予想の修正について

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) 2023年5月12日発表	322,500	35,500	33,500	21,200	212 15
今回修正予想 (B)	343,000	38,000	38,300	23,500	235 59
増減額 (B - A)	20,500	2,500	4,800	2,300	—
増減率 (%)	6.4	7.0	14.3	10.8	—
(ご参考) 前期通期実績 (2023年3月期)	321,771	34,439	37,876	21,170	211 28

通期連結業績予想の修正理由

2024年3月期につきましては、売上高、営業利益、経常利益、純利益いずれも期初の予測を上回る見込みとなり、業績予想を修正いたしました。

これは、合成樹脂成形品事業が国内外で好調であることと、為替が想定以上に円安に進んだため業績予想の前提となる為替レートの見直しを行ったことによるものです。

なお、連結業績予想に用いた主な為替換算レートは、132円/米ドル、145円/ユーロです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,793	125,210
受取手形	1,668	1,701
電子記録債権	7,771	7,956
売掛金	52,262	55,761
契約資産	786	916
有価証券	691	57
商品及び製品	27,966	26,208
仕掛品	3,226	3,045
原材料及び貯蔵品	10,020	10,499
その他	9,742	9,743
貸倒引当金	△261	△298
流動資産合計	243,668	240,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,118	47,889
機械装置及び運搬具（純額）	19,780	19,295
工具、器具及び備品（純額）	4,426	4,332
金型（純額）	4,458	4,414
土地	18,502	18,479
リース資産（純額）	44	41
建設仮勘定	2,913	3,201
その他	6,676	6,475
有形固定資産合計	104,921	104,130
無形固定資産		
のれん	467	396
その他	1,419	1,357
無形固定資産合計	1,887	1,754
投資その他の資産		
投資有価証券	3,317	3,379
繰延税金資産	963	995
退職給付に係る資産	1,664	1,720
その他	2,728	2,690
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,673	8,784
固定資産合計	115,482	114,670
資産合計	359,150	355,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,076	27,340
短期借入金	8,903	7,605
1年内返済予定の長期借入金	10,209	133
未払金	5,190	5,646
未払法人税等	5,329	3,741
契約負債	4,240	4,680
賞与引当金	2,517	1,164
その他	10,277	10,877
流動負債合計	71,744	61,191
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	10,345	10,330
繰延税金負債	7,175	7,356
退職給付に係る負債	1,818	1,782
その他	6,938	6,596
固定負債合計	61,278	61,065
負債合計	133,023	122,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	13,908	13,908
利益剰余金	208,459	214,875
自己株式	△19,691	△20,418
株主資本合計	209,966	215,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	737	1,082
繰延ヘッジ損益	△63	△47
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	13,002	13,950
退職給付に係る調整累計額	△96	△134
その他の包括利益累計額合計	13,585	14,856
非支配株主持分	2,576	2,703
純資産合計	226,127	233,215
負債純資産合計	359,150	355,472

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	72,648	87,977
売上原価	53,001	64,142
売上総利益	19,647	23,834
販売費及び一般管理費	11,718	13,687
営業利益	7,928	10,146
営業外収益		
受取利息	73	139
投資有価証券評価益	124	34
為替差益	2,844	3,119
その他	581	230
営業外収益合計	3,623	3,524
営業外費用		
支払利息	115	172
デリバティブ評価損	24	47
支払補償費	110	—
その他	57	42
営業外費用合計	308	262
経常利益	11,243	13,408
特別利益		
固定資産売却益	0	100
受取保険金	※1 39	—
特別利益合計	40	100
特別損失		
固定資産除売却損	46	44
特別損失合計	46	44
税金等調整前四半期純利益	11,238	13,464
法人税等	2,999	3,543
四半期純利益	8,239	9,921
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,035	9,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	203	192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	344
繰延ヘッジ損益	△12	16
為替換算調整勘定	6,869	995
退職給付に係る調整額	26	△37
その他の包括利益合計	6,800	1,319
四半期包括利益	15,039	11,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,708	11,000
非支配株主に係る四半期包括利益	330	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 受取保険金

2020年2月に海外連結子会社であるNifco Germany GmbHにおいて発生した火災事故に係る保険金の受取額です。

(追加情報)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2023年5月18日開催の取締役会において、当社の中長期的な株主価値に対する従業員のモチベーション向上を企図して、当社の発行する普通株式を、ニフコ従業員持株会の会員に対し、特別奨励金として付与するインセンティブ・プランの導入を決定いたしました。当社は、2023年7月25日、ニフコ従業員持株会を処分先とする第三者割当による自己株式の処分を行いました。

自己株式の処分の概要

(1) 処分の期日	2023年7月25日
(2) 処分株式の種類	当社普通株式
(3) 処分株式の数	57,222株
(4) 処分価額	1株につき3,775円
(5) 処分総額	216,013,050円
(6) 処分の方法	第三者割当
(7) 処分先	ニフコ従業員持株会

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,239	7,408	72,648	-	72,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	△0	-
計	65,239	7,408	72,648	△0	72,648
セグメント利益又は損失 (△)	7,866	1,302	9,169	△1,240	7,928

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,240百万円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,826	8,150	87,977	-	87,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	79,826	8,150	87,977	-	87,977
セグメント利益又は損失 (△)	10,092	1,371	11,463	△1,317	10,146

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,317百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。